

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成30年 6月28日

京都府知事 様



提出者

住所 大阪市北区芝田2-7-18  
オーエックス梅田ビル新館  
氏名 五洋建設株式会社 大阪支店  
常務執行役員支店長 松山 章  
電話番号 06-6486-2115

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	五洋建設株式会社大阪支店
事業場の所在地	大阪市北区芝田2-7-18 オーエックス梅田ビル新館
計画期間	平成30年4月1日~平成31年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	0611 一般土木建築工事業
②事業の規模	平成29年度 大阪支店 完工高31,514百万円
③従業員数	222名(平成30年3月31日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成29年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	別紙3の通り t
	(これまでに実施した取組) 新築工事により相当数のがれき類、建設汚泥が発生したが、適正に処理した。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	別紙3の通り t
	(今後実施する予定の取組) 現状取り組みを維持継続する。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 安定型産業廃棄物及びそれ以外の産業廃棄物の分別。 (社)全国建設業協会で定めた15種類を基本とする。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取り組みを継続。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用を行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自ら再生利用を行わない。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理を行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理を行わない。		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行わない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 電子マニフェストシステムに対応している収集・運搬、中間処理業者に優先的に委託した。		

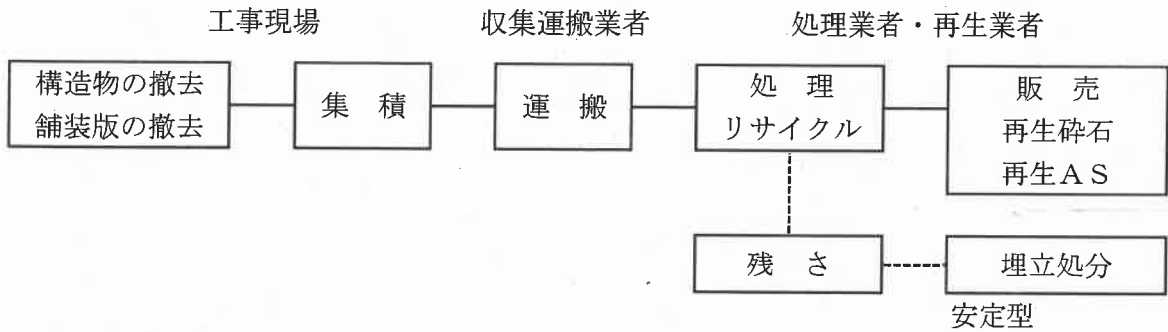
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙3の通り t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状取り組みの継続。		
※事務処理欄			

備考

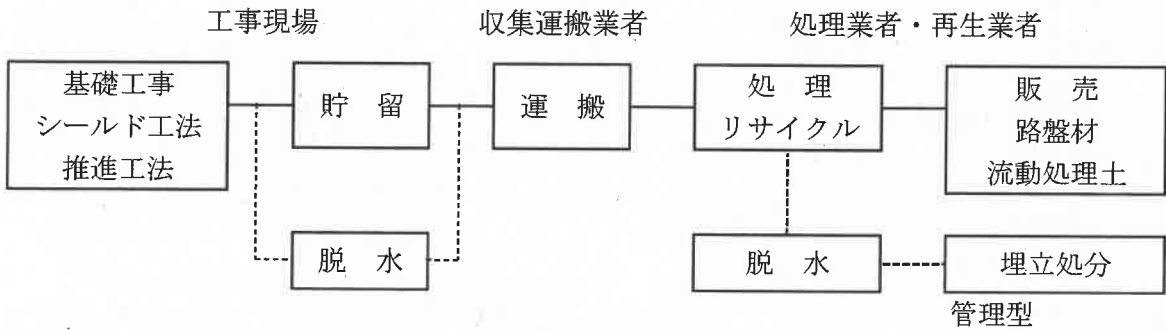
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

廃棄物処理フロー (別紙1)

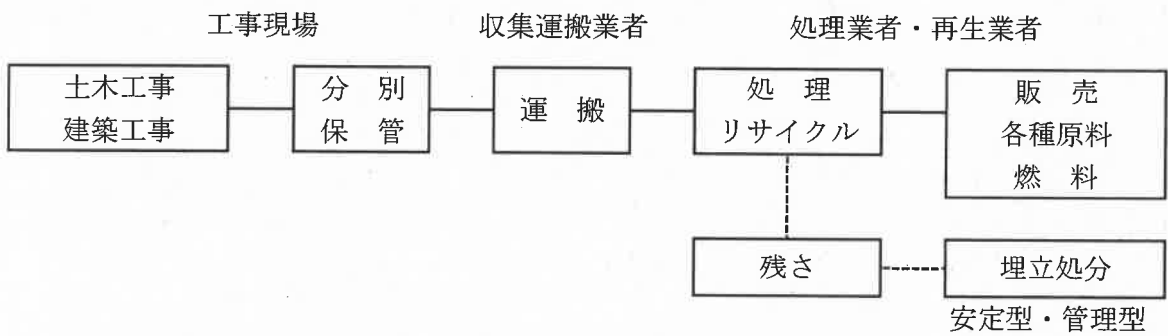
1. がれき類



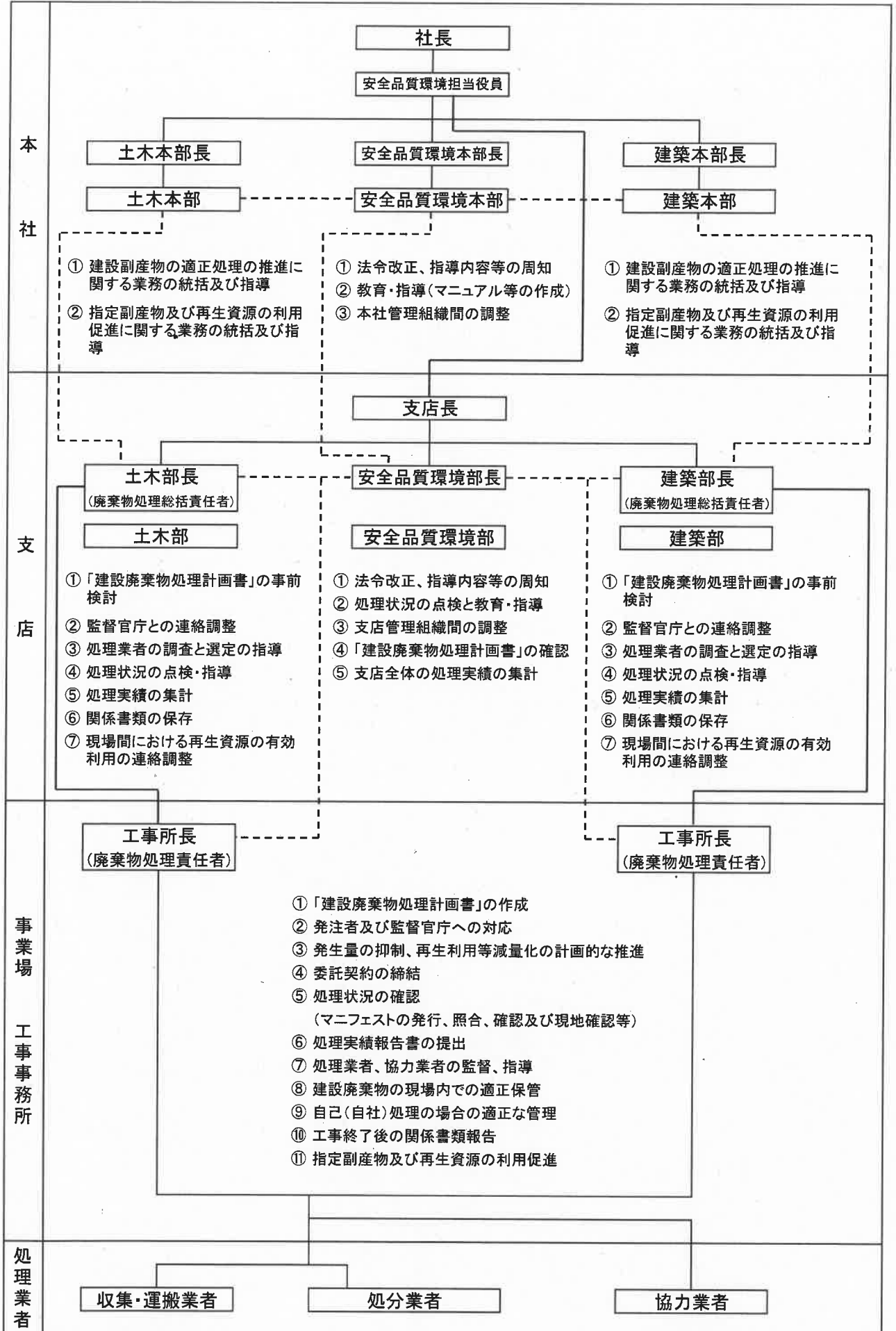
2. 汚泥



3. その他 (木くず、廃プラスチック類、金属くず等)



建設廃棄物処理管理組織図





### (別紙3)

#### 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

##### ○ 現状 前年度(平成29年度)実績

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1300ガラ スくず	1500 がれき類	2000 建設系 混合廃棄物
排出量	1,436t	11t	39t	2t	4,072t	55t

##### ○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1300ガラ スくず	1500 がれき類	2000 建設系 混合廃棄物
排出量	1,500t	13t	35t	2t	4,000t	50t

#### 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

##### ○ 現状 前年度(平成29年度)実績

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1300ガラ スくず	1500 がれき類	2000 建設系 混合廃棄物
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

##### ○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1300ガラ スくず	1500 がれき類	2000 建設系 混合廃棄物
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

#### 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

##### ○ 現状 前年度(平成29年度)実績

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1300ガラ スくず	1500 がれき類	2000 建設系 混合廃棄物
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

##### ○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1300ガラ スくず	1500 がれき類	2000 建設系 混合廃棄物
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○ 現状 前年度(平成29年度)実績

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1300ガラ スくず	1500 がれき類	2000 建設系 混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1300ガラ スくず	1500 がれき類	2000 建設系 混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○ 現状 前年度(平成29年度)実績

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1300ガラ スくず	1500 がれき類	2000 建設系 混合廃棄物
全処理委託量	1,436t	11t	39t	2t	4,072t	55t
優良認定処理事業者 への処理委託量	0t	11t	39t	2t	532t	55t
再生利用業者 への処理委託量	0t	0t	39t	0t	4,072t	0t
認定熱回収業者 への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1300ガラ スくず	1500 がれき類	2000 建設系 混合廃棄物
全処理委託量	1,500t	13t	35t	2t	4,000t	50t
優良認定処理事業者 への処理委託量	0t	13t	35t	2t	1,000t	50t
再生利用業者 への処理委託量	0t	0t	35t	0t	4,000t	0t
認定熱回収業者 への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t